

中山鋼業株式会社 環境自主行動計画（2019）

中山鋼業では、環境方針および環境自主行動計画を制定して、環境保全活動に積極的に取り組みます。

2019年度 環境方針

【基本理念】

中山鋼業株式会社は、鉄スクラップを資源として再利用し、鉄筋棒鋼で再生させることにより、鉄資源のリサイクルの一翼を担っており、省資源・省エネルギーを通じ、社会に貢献する事業活動を行う。

【環境方針】

1. 当社の事業活動・製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、汚染を予防し、環境保護に努め、利害関係者のニーズ及び期待に応える。
2. 環境に関連する法令や条例・協定ならびに、当社が同意するその他の要求事項を順守する。
3. 環境側面に関連する環境パフォーマンスを向上させるため、リスク及び機会、ライフサイクルの視点、順守義務を考慮し、環境マネジメントプログラム（EMP）を設定して評価し、定期的な見直しにより、継続的に改善を行う。
4. エコークラウド戦力化、設備保全を強化し安定操業による省エネルギーを目指す。

環境自主行動計画

地球温暖化対策への取り組みにおける（一社）日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画（2013年～2020年度）を受け、中山鋼業株式会社は以下の自主行動計画を策定し推進する。

1. 省エネルギー、省資源の推進
2. 目標
年度：前年対比 1%／年以上 削減 の省エネルギーを目標とする
中長期：①継続して前年対比 1%／年以上 削減 又は、5年度間平均 1%／年以上 削減 の省エネルギーを目標とする。
② 2020年度に 2005年度比 22.5%以上 削減 の省エネルギーを達成させる（ベンチマーク達成を図る）
3. 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の変化状況

	基準年度 (2005年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	5年度間平均 原単位変化
エネルギーの使用に係る原単位(kl/千t)	184.3	170.4	159.6	156.1	158.6	155.1	
対前年度比(%)		100.5%	93.7%	97.8%	101.6%	97.8%	97.7%
対2005年比(%)		92.5%	86.6%	84.7%	86.1%	84.2%	

・平成30年度は、次世代環境対応型高効率アーク炉（エコークラウド）導入の工事を実施して、この間製鋼工場を休止、圧延では冷材ビレットを使用したため、エネルギー使用が増加したがエコークラウド導入後の6カ月の運用により、エネルギー原単位の削減が図れた。直近の5年度間平均原単位では、年2.3%低減を達成した。

4. ベンチマーク指標
電炉による普通鋼製造業
・目指すべき水準：143.0 kl/千t以下

年度及び中長期の省エネルギー目標を達成させ、ベンチマーク達成を図る。

5. 主な対策
・省エネルギー設備の導入
・高効率設備への更新
・オフィス・工場内の省エネルギー、省資源の推進教育
・ISO14001(EMS)活動
・環境委員会による省エネ活動等の検討・実施状況フォロー